

令和3年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名 災害見舞金・弔慰金等支給事業		課名	危機管理課	事業No.	71	
		会計	一般会計			
		事業区分	経常	実施区分	継続	
		開始	S45	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画					
	分野別計画					
法令・例規等			飯田市災害見舞金等支給条例（昭和45年条例第39号）			
事業目的	対象	火災・自然災害等の被災市民				
	意図	見舞い、弔意				

2 事業内容

3年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	日本赤十字社長野県支部飯田市地区や関係機関と協力し、火災等による被災状況を迅速かつ的確に把握するとともに、被災された市民の生活状況等を考慮したうえで見舞金の支給を行いました。 なお、火災による見舞金の支給が4件、火災による弔慰金の支給が1件、自然災害による支給が2件でした。		見舞金					280			
			弔慰金					200			
						その他の経費				0	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	見舞金等支給	件	18	7							
3年度決算(千円)	予算額	760	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	480									
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	480										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	1	2	10	2	760	480	災害見舞金給付事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		被災後、現地では混乱等する中で直ちに被災状況の把握や当家への説明などを行い、被災された市民の生活状況等も考慮したうえで早期に見舞金の支給を行う必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		被災建物の状況の把握と建物情報の基礎情報の取得について、関係機関での理解と協力体制が必要です。							
次年度に向けての取り組み		引き続き、被災情報の迅速かつ的確な把握に努め、速やかに被災者に寄り添いつつ見舞金又は弔慰金の支給を行って参ります。							